

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策
～国民の命と生活を守り抜き、経済再生へ～（抄）

令和 2 年 4 月 7 日
閣 議 決 定
令和 2 年 4 月 20 日全部改正

IV. 強靱な経済構造の構築

3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速

遠隔教育に関しては、総合経済対策で掲げられた目標である、令和 5 年度までの児童生徒 1 人 1 台端末の整備スケジュールの加速、学校現場への ICT 技術者の配置の支援、在宅・オンライン学習に必要な通信環境の整備を図るとともに、在宅での PC 等を用いた問題演習による学習・評価が可能なプラットフォームの実現を目指す。また、EdTech の学校への導入や在宅教育を促進するオンライン・コンテンツの開発を進める。学校等の授業をオンラインで行う場合、教材として使用する著作物について個々に許諾を得ることなく使用できるようにするための授業目的公衆送信補償金制度について、教育現場の負担に十分に配慮した形で、本年 4 月中からの暫定的な運用開始を目指す。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備え、特例的な措置として、児童生徒等の教育機会確保のための施策を講ずる（下記「○遠隔教育について実施すべき事項」）。

- ・ 授業目的公衆送信補償金制度の早期施行（文部科学省）

○遠隔教育について実施すべき事項

新型コロナウイルスの感染拡大により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備え、特例的な措置として、以下のような柔軟な運用も含め、家庭での学習支援等による児童生徒等の教育機会確保のための施策を講ずる。

（５）オンラインでの学びに対する著作権要件の整理

デジタルの資料配布を原則許諾不要・補償金とする著作権法の一部を改正する法律は公布日（平成 30 年 5 月 25 日）から 3 年以内に施行されるとなっているところ、これを即時に施行するとともに、令和 3 年度からの本格実施に向けて補償金負担の軽減のための必要な支援について検討する。